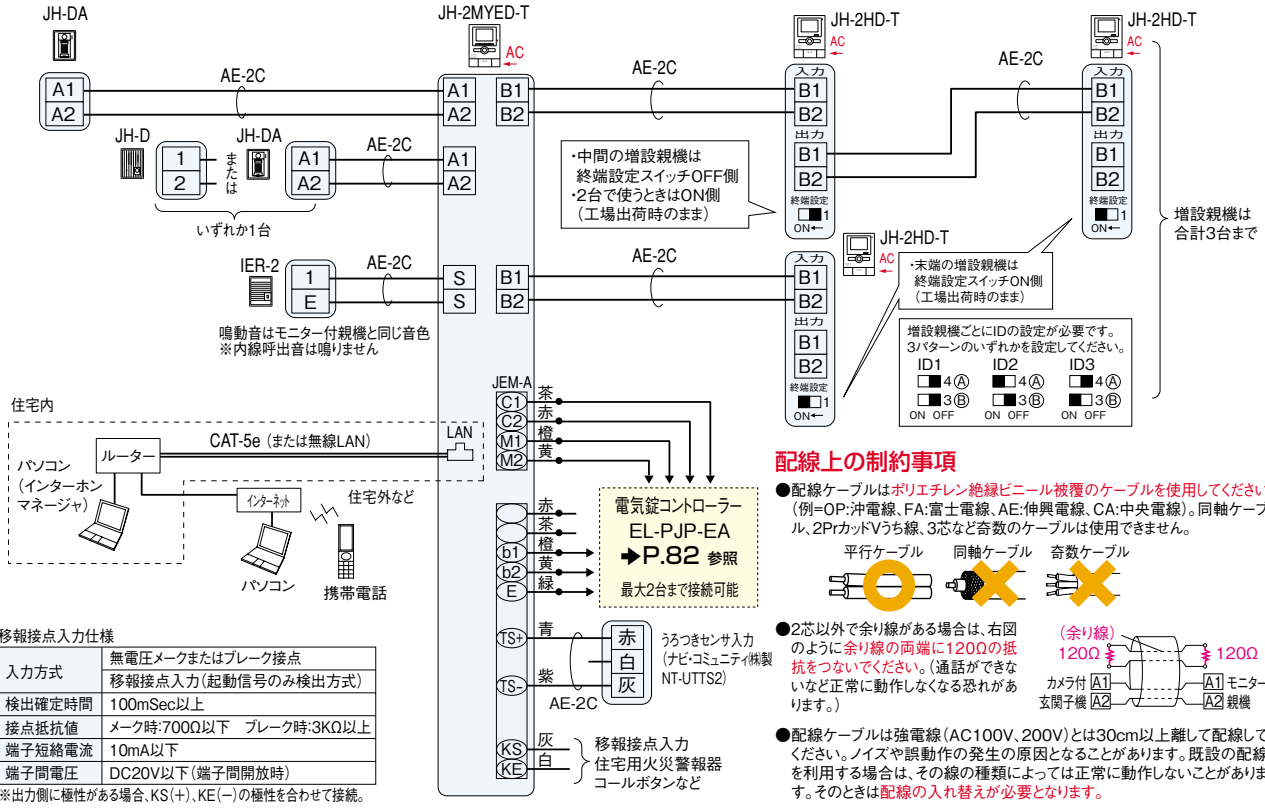


■接続図例

■カメラ付玄関子機2台、モニター付親機1台、モニター付増設親機3台を設置した例



配線上の制約事項

- 配線ケーブルはポリエチレン絶縁ビニール被覆のケーブルを使用してください(例→OP:沖電線、FA:富士電線、AE:伸興電線、CA:中央電線)。同軸ケーブル、2PカットVうち線、3芯など奇数のケーブルは使用できません。
- 2芯以外で余り線がある場合は、右図のように余り線の両端に120Ωの抵抗をつないでください。(通話ができないなど正常に動作しなくなる恐れがあります。)
- 配線ケーブルは強電線(AC100V、200V)とは30cm以上離して配線してください。ノイズや誤動作の発生の原因となることがあります。既設の配線を利用する場合は、その線の種類によっては正常に動作しないことがあります。そのときは配線の入れ替えが必要となります。

■インターホンマネージャ、WEBアプリケーションと連携する場合のご注意

- インターホンマネージャでは、パソコンで増設親機相当の操作が可能です。(同時接続は5台まで)
- インターホンマネージャが正常に作動しない場合は、一度モニター付親機の電源スイッチをOFFにし、再度ONにしてください。それでも作動しない場合は、モデムやルーターを再起動したあとに、モニター付親機の電源をONにしてください。
- インターホンマネージャはパソコン1台につき複数台は起動できません。
- マイク、スピーカーから50cm以内の距離で通話してください。離れすぎると音声聞き取りにくくなる場合があります。
- パソコン(スピーカー)や玄関子機のまわりの音が大きく騒がしい時は(子供の泣き声、ステレオの音響、強風時の風雑音など)音声聞き取りにくくなる場合があります。
- インターホンマネージャ同士の室内通話はできません。
- パソコンとモニター付親機の時刻が前後5分以上ずれると電気錠の解錠はできません。
- モニター付親機の時刻とパソコンの時刻は同期しません。
- インターホンマネージャで音声と映像はリップシンクしません。
- インターホンマネージャで通話する場合は、ハウリングを防止するためにヘッドセットを使用してください。
- ヘッドセットを使用する場合、パソコンのスピーカーからは呼出音は鳴りません。呼び出しの確認はヘッドセットまたは画面表示で行ってください。
- 通話は自動交差通話のため、インターホンマネージャでヘッドセットを使用しても同時通話にはなりません。
- ポータルサイトの利用や携帯電話でメール受信や各種操作をするには、別途、当社とのITホームセキュリティサービスマイ契約(有料)が必要です。
- 別途プロバイダー、回線契約、回線の維持が必要です。
- パソコンの条件

OS	Windows XP SP3 (Home/Professional) Windows Vista (Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate) Windows Vista (64bit版)(Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate) Windows 7 Home Premium	
PC	プロセッサ	2GHz以上
	システムメモリ(RAM)	OS推奨値以上
	ハードディスク	5MB以上の空き容量
	サウンドカード	8bit full duplex(全2重) Direct Sound 対応
	ディスプレイ	1024×768以上、ハイカラー以上表示できること
	インターネットブラウザ	Internet Explorer 7/8/9
ネットワーク	10BASE-T、100BASE-TX	

●ネットワークの条件

プロトコル	IPv4
ネットワーク帯域	最小500kbps以上
映像品質(圧縮率)	固定
映像フレームレート	約5~7fps
音声コーデック	8kHz 32kbpsモノラル(G.726)
音声伝送	全2重
音声ジッタ時間	180ms

●ネットワークやパソコンの負荷により、音声の途切れや画像取得が遅延する場合があります。

■無線LANについて

モニター付親機は、2.4~2.4835GHzの全帯域を使用する通信機器を内蔵しています。移動体識別装置の帯域を回避可能で、変調方式は「DH-SS、OFDM方式」、与干渉距離は40mです。本機には、それを示す右記のマークが貼付されています。



- 電波に関するご注意
- 本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医用機器のほか、工場の生産ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
- 1.本機を使用する前に、近くで移動体識別の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 2.万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、混信回避のためのパーティションの設置や設置場所の移動を行ない互いに干渉が起きないようにしてください。
 - 3.その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社お客様相談センターへお問い合わせください。

その他のご注意

- 本機は電子レンジなどから離して設置してください。(目安:約3m以上)
- 電子レンジなどを使用中に、モニター付親機/パソコン(インターホンマネージャ)の間に電子レンジがあると、通話とぎれたり、使えなくなることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。なるべく、設置場所や使用場所を離してください。(目安:約3m以上)
- これらの機器周辺では、声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。

・デジタルコードレス電話機(FAX)・火災報知器・工場や倉庫などの物流管理システム・マイクロ波治療器・自動ドア・自動制御機器・アマチュア無線局・ワイヤレスAV機器(テレビ、ビデオ、パソコンなど)・鉄道車両や緊急車両の識別システム・ゲーム機のワイヤレスコントローラー・万引防止システム(書店やCDショップなど)・その他Bluetooth™対応機器やVICS(道路交通網システム)など

ご注意

- ・インターホンマネージャ(PC)は、無線LAN対応ルーターを中心とした無線LAN圏内で使用してください。
- ・無線LAN対応ルーターまたはモニター付親機の電源が入っていないとインターホンマネージャ(PC)のインターホン機能は使用できません。

